

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-532924 (P2005-532924A)

【公表日】平成 17 年 11 月 4 日 (2005.11.4)

【年通号数】公開・登録公報 2005-043

【出願番号】特願 2003-547178 (P2003-547178)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/21 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/50 (2006.01)

B 4 1 M 5/52 (2006.01)

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 A

B 4 1 M 5/00 A

B 4 1 M 5/00 B

B 4 1 M 5/00 E

C 0 9 D 11/00

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 9 月 7 日 (2005.9.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

有色インクと少なくとも 1 種の無色インクとを含むインクセットを用いて記録媒体上に画像をジェット印刷する工程を含む、改良された光沢均一性を有するインクジェット印刷のための方法であって、前記画像の全階調範囲にわたり光沢が実質的に均等化されるように、実質的に、前記有色インクが存在しない前記画像上の位置にのみ、前記少なくとも 1 種の無色インクを印刷することを特徴とする方法。

【請求項 2】

有色インクと少なくとも 1 種の無色インクとを含むインクセットを用いて記録媒体上に画像をジェット印刷する工程を含む、全階調範囲にわたり実質的に均一な光沢を有する高光沢画像を提供するように、低光沢媒体上にインクジェット印刷するための方法であって、

a) 印刷された領域の光沢が、印刷されていない媒体の光沢よりも大きくなるように、前記インクセットのインクにより光沢を付加することと、

b) 実質的に、前記有色インクが存在しない前記画像上の位置にのみ、前記少なくとも 1 種の無色インクを印刷することと、
を特徴とする方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

同様に、好ましい実施形態では、印刷画像が均一の光沢であるだけでなく印刷されていない媒体よりも高い光沢であるように、本発明は低光沢媒体に適用される。したがって、たとえば、マイクロポラス媒体を用いて、高光沢を犠牲にすることなく、その媒体の利点を生かすことができる。

以下に、本発明の好ましい態様を示す。

1. 有色インクと少なくとも1種の無色インクとを含むインクセットを用いて記録媒体上に画像をジェット印刷する工程を含む、改良された光沢均一性を有するインクジェット印刷のための方法であって、実質的に、前記有色インクが存在しない前記画像上の位置にのみ、前記少なくとも1種の無色インクを印刷することを特徴とする方法。

2. 有色インクと少なくとも1種の無色インクとを含むインクセットを用いて記録媒体上に画像をジェット印刷する工程を含む、全階調範囲にわたり実質的に均一な光沢を有する高光沢画像を提供するように、低光沢媒体上にインクジェット印刷するための方法であって、

a) 印刷された領域の光沢が、印刷されていない媒体の光沢よりも大きくなるように、前記インクセットのインクにより光沢を付加することと、

b) 実質的に、前記有色インクが存在しない前記画像上の位置にのみ、前記少なくとも1種の無色インクを印刷することと、
を特徴とする方法。

3. 前記画像の全階調範囲にわたり光沢が実質的に均等化されるように、前記少なくとも1種の無色インクを印刷することを特徴とする1.または2.に記載の方法。

4. 前記無色インクがポリマーを含むことを特徴とする1.または2.に記載の方法。

5. 前記無色インクが前記無色インクの全重量の約0.1～約30.0重量パーセントの量で前記ポリマーを含むことを特徴とする4.に記載の方法。

6. 前記ポリマーがポリ(メタ)アクリレート類およびポリウレタン類ならびにそれらの混合物の群から選択されることを特徴とする4.に記載の方法。

7. 前記有色インクのうちの少なくとも1つがポリマーを含み、かつ前記無色インクもまた前記ポリマーを含むことを特徴とする1.または2.に記載の方法。

8. 前記無色インクが前記無色インクの全重量の約0.1～約30.0重量パーセントの量で前記ポリマーを含むことを特徴とする7.に記載の方法。

9. 前記記録媒体が紙をベースとすることを特徴とする1.または2.に記載の方法。

10. 前記記録媒体がマイクロポラス媒体であることを特徴とする9.に記載の方法。

11. 無色インクの小滴を有色インクの小滴間に適用することを特徴とする1.または2.に記載の方法。